



I'mネット通信 No. 26

「いばらきマンション管理組合ネットワーク」からのお知らせです。

今期5回目の定例会を開催いたしました。

今期第5回目の定例会を開催いたしました。概要は以下の通りです。

今回は、前回（25回）の上田様からの講演『委託契約書から見た管理会社の役割は！』の中で特に皆様の関心が高かった『横領から見えてきた管理組合の五つの責任』の内『無関心の責任』をテーマとし、マンションの問題発生の原因ともいえる住民の『無関心をいかに克服すべきか』を柱に進めました。無責任とは『真逆は愛』といわれるように、人の心から生まれる感覚ですから、マンション毎の特別な条件を伴う問題ということより、共通項の強い問題で、奥の深いテーマでもあります。そこで、呼び水的役割になればと、僭越ながら私のマンション生活で感じた疑問点とその解消に、何を心掛け、何に的を当てた活動を行ったのか、その結果がどのような形で表れつつあるかを簡単に説明させていただき、その後、参加各位からの質疑応答並びに関連課題を挙げていただく形で進行いたしました。

■初めて、理事になって感じた『はてな？』

すれ違っても声掛けがない。隣人の名前と顔が一致できない。自分のこと以外無関心、誰かがやってくれる筈の慣習蔓延、皆のために活動することに対する無理解言動の存在、ということを見聞き、肌で感じながら、このままでは無縁社会に向かってしまうのではと感じました。当時を一言で申し上げるなら、『今だけ、金だけ、自分だけ』の見本を見ているような感覚でした。

■アイムネットに参加して学んだこと

- ★コミュニティとは、居住地域を同じにして利害を共にする共同社会であること。
- ★また、習慣等で結びつけられた共同体、地域社会であること。
- ★コミュニティとは、語り合い、知り合い、そこから物心両面から心理の存在に『気づく場』であらねばならないこと。
- ★そこでコミュニティを活性化させるためには何をすべきかを考え、監事を担った4年間、毎月開催の理事会に参加、改革の声を語り続けました。それは分譲マンションの住民として、生活信条

に共同管理、共同生活、共同所有、共同利用という四つの共同の心を持ち、生活をエンジョイしようということでした。

■広報紙の発行を提案し、世話役を担う

続いて、住民同士を知り合う環境の一環として、広報紙の発行を立ち上げました。当マンションは築41年の歴史があり、当初から生活されている人々も多く、それなりに子供を介しての付き合いはあったが子供たちが独立することから、その絆も薄れ、特定の付き合い以外あまり積極的な関連はありませんでした。当初は年間3回の発行を今年から年間4回の発行にして、それなりに推進しております。

■老人会（すまいる会）を立ち上げ、活動に参加

現在会員は50名弱で、高齢者の総数から見れば1割程度ですが、年1回のバス旅行、年間2回の昼食会と年2回の落語会開催、月1回のストレッチ・健康体操、週2回の集会室を開放して茶話会の開催、出席者平均20名弱と盛り沢山、会費は月200円、それに市の助成金、資源ごみ回収の立ち合い担当、植栽の水やり担当等から自治会からの援助等で補う。

■現在は、すまいる会の活動の力が、自治会・こども会に影響を与えていると捉えております。

特に子ども会とのコラボレーションでは、ハローウィン開催、夏休みのラジオ体操の推進、夏休みの宿題・工作支援、こども会・自治会とのコラボで行っている夏祭り・餅つき大会（餅つき大会は以前から開催されていた）の参加者の増員と盛り上がりと総会参加者の増員から、住民の『無関心』から『関心』への心の変化の表れではないかと思っております。（文責 横須賀亮一）

**茨木市内の分譲マンションの区分所有者なら、お気軽に入会いただけます。
いばらきマンション管理組合ネットワーク「I'mネット」にご入会ください。**

問合せ先 茨木市 都市整備部 都市政策課内

TEL / 072-620-1660（直通）

FAX / 072-620-1730

**次回の定例会は11月11日（金）19時から
男女共生センターローズ WAM4階会議室にて総会を兼ね行います**